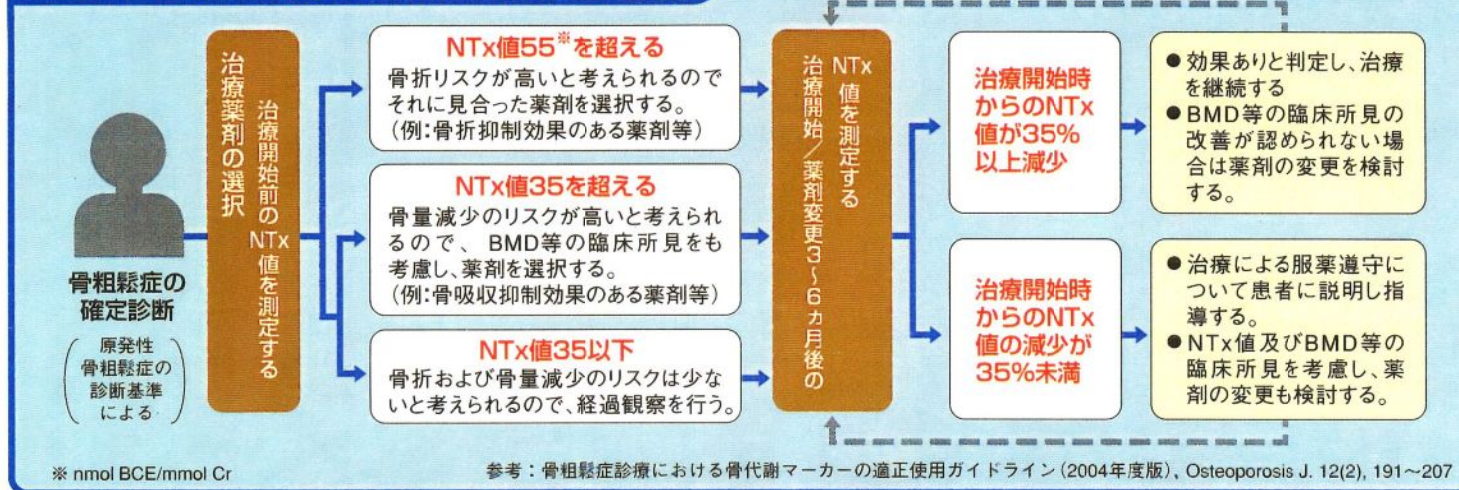


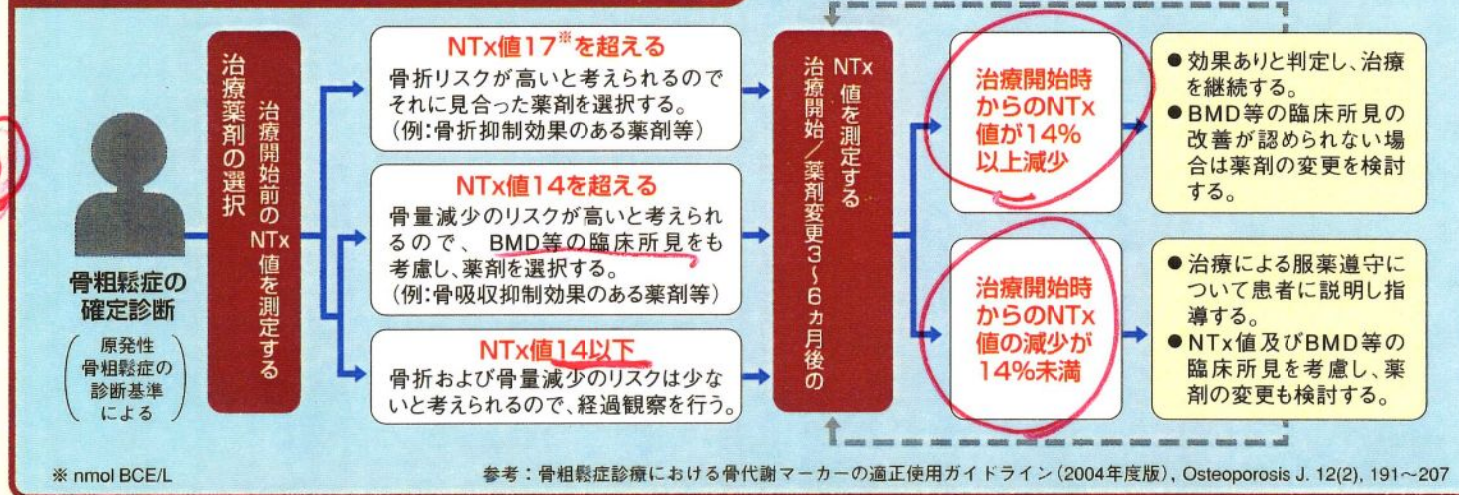
骨粗鬆症患者の尿中NTx、血清中NTxによる管理例

監修：浜松医科大学 名誉教授 井上 哲郎

骨粗鬆症患者の尿中NTxによる管理例



骨粗鬆症患者の血清中NTxによる管理例





I型コラーゲン架橋N-テロペプチド (NTx) 基準値 (参考値), 判定基準

	(尿 中)		(血 中)	
基準値 (参考値)	男 性	13.0~66.2 nmolBCE/ mmol・CRE	男性(40~59歳)	9.5~17.7 nmolBCE/L
	閉経前女性	9.3~54.3 nmolBCE/ mmol・CRE	閉経前 女性	7.5~16.5 nmolBCE/L
	閉経後女性	14.3~89.0 nmolBCE/ mmol・CRE	閉経後 女性	10.7~24.0nmolBCE/L
判定基準	骨粗鬆症薬剤治療の指標	骨折リスクカットオフ値54.3nmolBCE/mmol・CRE	骨粗鬆症薬剤治療の指標	骨折リスクカットオフ値 16.5 nmolBCE/mmol・CRE
		骨量減少カットオフ値35.3 nmolBCE/mmol・CRE		骨量減少カットオフ値 13.6 nmolBCE/mmol・CRE

Red handwritten circle around '10.7~24.0nmolBCE/L' and '(N)' next to it.

デオキピリジノリン (DPD) 基準値, 判定基準

基準値	M	2.1~5.4 nmol/ mmol・CRE
	F	2.8~7.6 nmol/ mmol・CRE
判定基準	骨粗鬆症薬剤治療の指標	骨折リスクカットオフ値 7.6 nmol/ mmol・CRE
		骨量減少カットオフ値 5.9 nmol/ mmol・CRE

Red handwritten note: ← 3~6回/年

	項目名			備考	臨床的意義・使い分け等
骨形成マーカー	血清 骨型アルカリフォスファターゼ(BAP) (BAP)	検体量、容器	血清(0.2ml) ・ X	BAP及びアルカリフォスファターゼ・アイソザイム精密測定及びBAP精密測定を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する	ALPIは骨芽細胞膜に局在し、骨形成に際して血中に流出する物質です。本測定系は骨ALPを特異的に測定するキットであることより、癌の骨転移(前立腺癌、乳癌等)の補助診断、慢性腎不全による透析患者の腎性骨異常症(繊維性骨炎、無形成骨症)の診断の指標として使われます。特に、腎性骨異常症においては骨生検との相関があり、有用性が高いです。また、骨形成マーカーとして骨粗鬆症治療薬の効果判定の補助に使用されています。(骨粗鬆症学会による骨代謝マーカーの適正使用ガイドライン項目)
		採血注意事項	-		
		実施料	170点		
		判断量	144 (生Ⅱ)		
骨吸収マーカー	血清 血清中I型コラーゲン架橋N-テロペプチド(NTx)(骨粗鬆症) (NTX)	検体量、容器	血清(0.3ml) ・ X	NTx精密測定及び尿中DPD精密測定は、原発性副甲状腺機能亢進症の手術適応の決定又は副甲状腺機能亢進症手術後の治療効果判定又は骨粗しょう症の薬剤治療方針の選択に際して実施された場合にのみ算定する。なお、骨粗しょう症の薬剤治療方針の選択時に1回、その後6月以内の治療効果判定時に1回に限り、また薬剤治療方針を変更したときには変更後6月以内に限り算定できる。NTx精密測定、オステオカルシン精密測定又は尿中DPD精密測定を併せて実施した場合は、いずれか1つのみ算定する	臨床評価は尿中とほぼ同等ですが、骨吸収に対する反応性が尿中に比べて小さいです。材料が血清なので、日内変動が尿中に比べて小さく、体格差の影響が少ないことが特徴です。また、長期的測定変動が少ないという利点があります。
		採血注意事項	治療効果のモニター等、同一患者での比較を行なう場合には第1回目と同時刻に採血してください。		
		実施料	160点		
		判断量	144 (生Ⅱ)		
	尿 I型コラーゲン架橋N-テロペプチド(NTx)(骨粗鬆症) (NTX)	検体量、容器	部分尿(3ml) ・ Y	薬剤投与による検討例(Ca製剤、HRT、ビスフォスフォネート製剤)が多いです。特に、アレンドロネートにおいて、骨吸収の変化率が大きく、治療効果の判定がしやすいです。材料が尿中なので、日内変動が大きい、体格差がある、長期測定変動CVが大きいという欠点があります。薬剤では、ボナロン、ベネット使用での検討が多く、とくに武田製薬(ベネット)は薬剤評価としてNTXでデータを先生方に示していることから、NTXの需要が多くなっています。	
		採尿注意事項	午前中の第二尿をご提出ください		
		実施料	160点		
		判断量	144 (生Ⅱ)		
	尿 デオキシピリジリン(DPD)(骨粗鬆症) DPD	検体量、容器	部分尿(3ml) ・ Y	NTxに比べて骨吸収の変化率が小さいですが、日内変動は少ないです。薬剤としてはダイドロネル使用での評価文献が多いです。	
		採尿注意事項	午前中の第二尿をご提出ください		
実施料		200点			
判断量		144 (生Ⅱ)			